

平成26年度 e・アンケートモニター
第2回アンケート No.1 調査結果

テーマ「地球温暖化問題や微小粒子状物質（PM2.5）に関する県民意識」

I 調査の概要

1 調査の目的

平均気温の上昇、大雨の頻度の増加といった地球温暖化問題は、事業者を中心とした社会経済活動から県民一人ひとりの日々の生活に至るまで、あらゆる人間活動が原因となって深刻化し、県民、事業者、行政がそれぞれ連携・協働し地球温暖化対策に取り組むことが重要となっています。

また、物の燃焼などにより発生する微小粒子状物質(PM2.5)は、健康への影響が懸念され、毎日の予報や濃度が上昇した時の注意喚起等迅速な情報提供等のPM2.5対策が重要となっています。

このアンケートは、今後、山口県において、地球温暖化対策及び微小粒子状物質(PM2.5)対策を促進していくための取組の基礎資料としてご意見を伺うものです。

2 調査実施期間

平成26年9月11日(木)～9月25日(木)

3 調査対象

平成26年度e・アンケートモニター 117人

4 回答状況

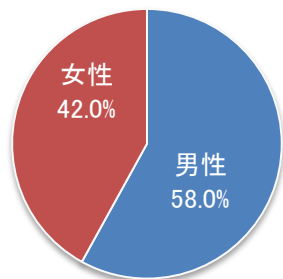
回答者 81人(回答率 69.2%)

5 調査担当課

山口県環境生活部環境政策課

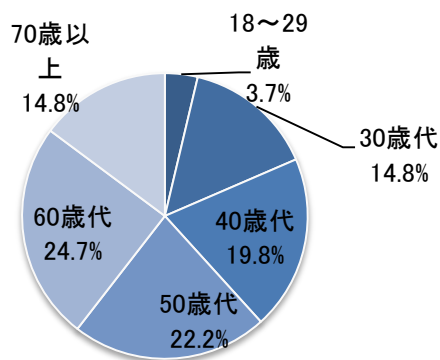
II 回答者の属性

■性別



区分	人数	%
男性	47	58.0
女性	34	42.0
計	81	100.0

■年代別



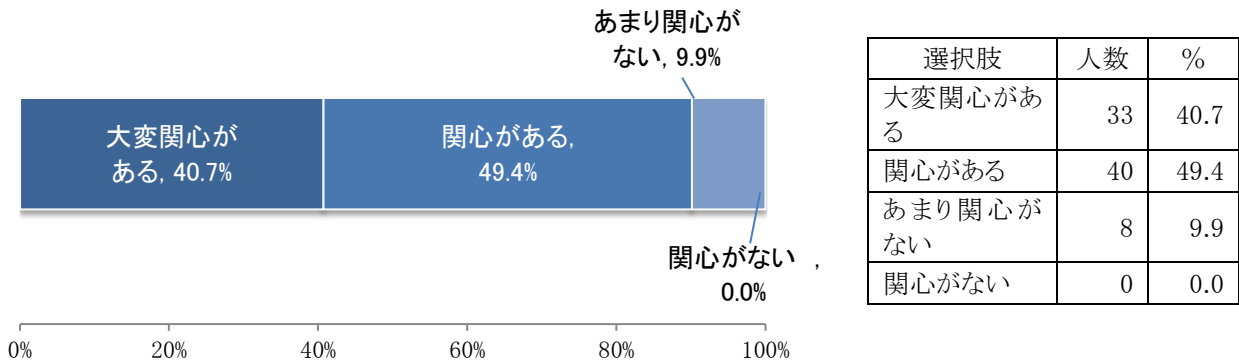
区分	人数	%
18～29歳	3	3.7
30歳代	12	14.8
40歳代	16	19.8
50歳代	18	22.2
60歳代	20	24.7
70歳以上	12	14.8
計	81	100.0

※「回答者の属性」、「調査結果」の各グラフ及び各表中に示した数値は小数点第2位を四捨五入しているため、全項目の合計が 100.0%とならない場合があります。

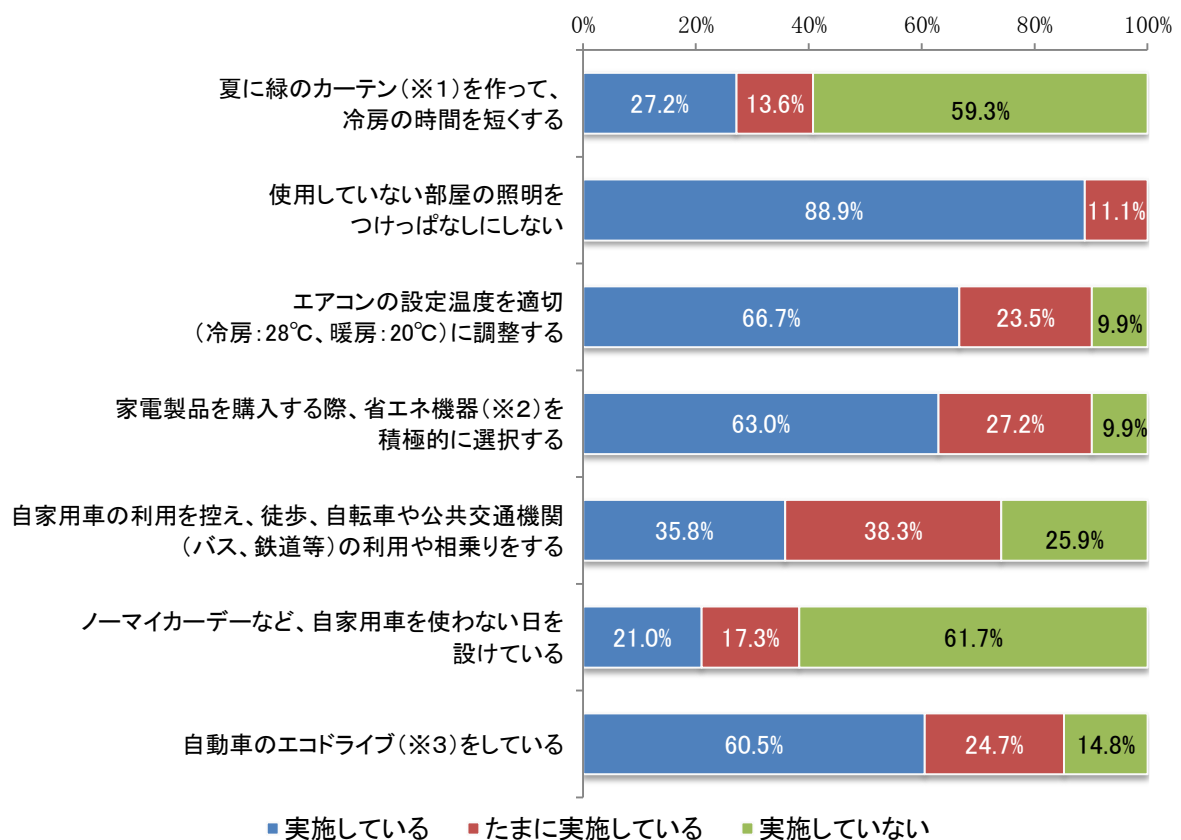
Ⅲ 調査結果

【地球温暖化問題への対応について】

問1 あなたは地球温暖化問題に関心をお持ちですか。(1つのみ)



問2 あなたの日常生活において、地球温暖化対策として、どのような取組を行っていますか。(それぞれ1つずつ)



※1「緑のカーテン」:ニガウリなどを利用して、夏の日射しをさえぎる自然のカーテンのこと

※2「省エネ機器」:「緑の省エネラベル」がついていますので、確認してください。

※3「エコドライブ」:急発進・急加速をしない、タイヤの空気圧を適切にする、アイドリングストップ等

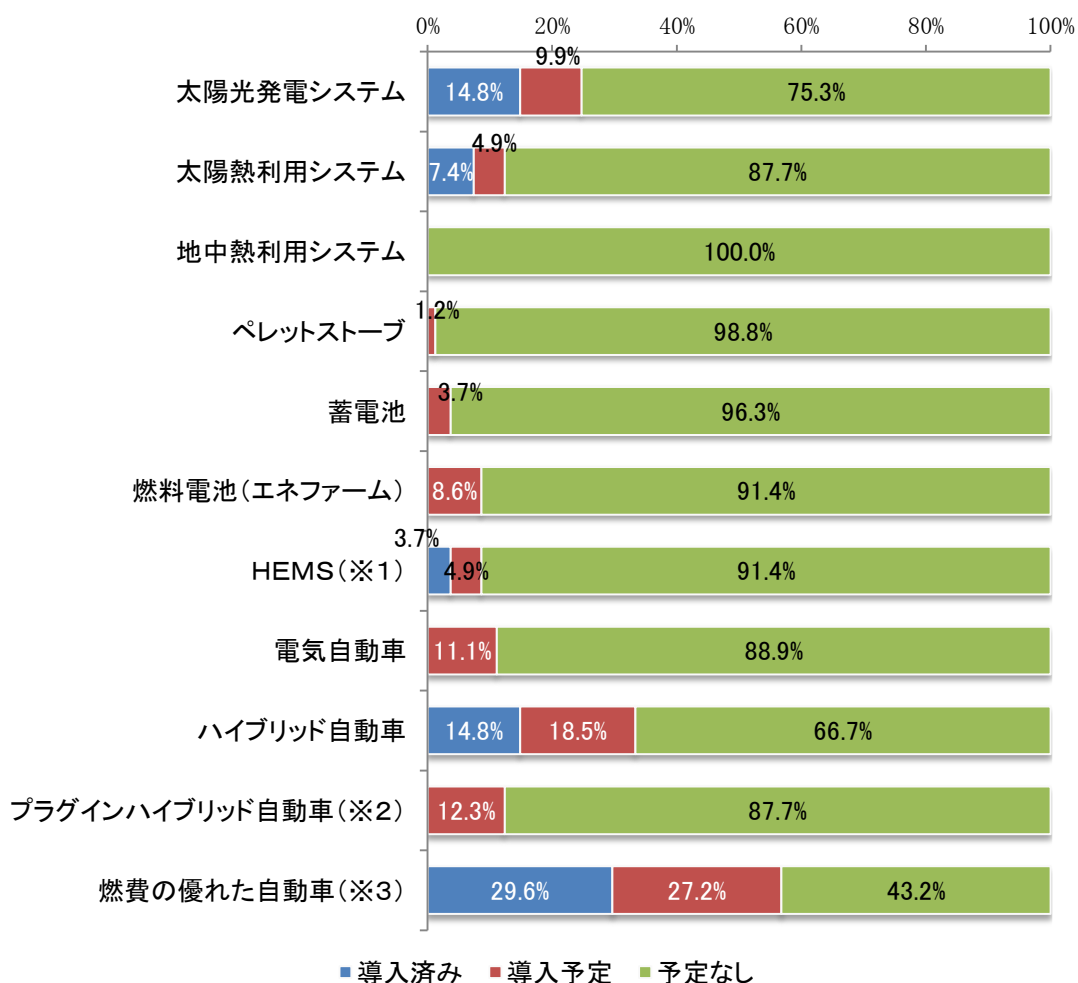
選択肢	人数			%		
	実施している	たまたま実施している	実施していない	実施している	たまたま実施している	実施していない
夏に緑のカーテン(※1)を作って、冷房の時間を短くする	22	11	48	27.2	13.6	59.3
使用していない部屋の照明をつけっぱなしにしない	72	9	0	88.9	11.1	0.0
エアコンの設定温度を適切(冷房:28℃、暖房:20℃)に調整する	54	19	8	66.7	23.5	9.9
家電製品を購入する際、省エネルギー機器(※2)を積極的に選択する	51	22	8	63.0	27.2	9.9
自家用車の利用を控え、徒歩、自転車や公共交通機関(バス、鉄道等)の利用や相乗りをする	29	31	21	35.8	38.3	25.9
ノーマイカーデーなど、自家用車を使わない日を設けている	17	14	50	21.0	17.3	61.7
自動車のエコドライブ(※3)をしている	49	20	12	60.5	24.7	14.8

〔問2の全ての項目について、「たまたま実施している又は実施していない」と答えた方に〕
問3 あなたが温暖化防止活動に取り組みにくい理由を教えてください。(いくつでも)

選択肢	人数	%
具体的に何をしてもよいかわからないから	0	0.0
なぜそれが(どのくらい)、地球温暖化防止に役立つのかわからないから	0	0.0
我慢をして不自由な生活をするより、便利で快適な生活を送りたいから	1	33.3
この対策に余分なお金や時間をかけるのはいやだから	0	0.0
自分一人で頑張っても、社会全体で見るとほとんど変わらないと思うから	0	0.0
企業や行政が県民より先に行動を起こすべきだと思うから	2	66.7
その他	1	33.3

(調査対象者3人 複数回答)

問4 あなたは、ご家庭で以下の再生可能エネルギー設備や省エネルギー機器等を導入していますか。(それぞれ1つずつ)



※1 ホームエネルギーマネジメントシステム (HEMS): 家庭での電力使用量や太陽光発電システムの発電量等をパソコン・タブレット等で「見える化」し、効率的な電気の利用と節電を行うシステム

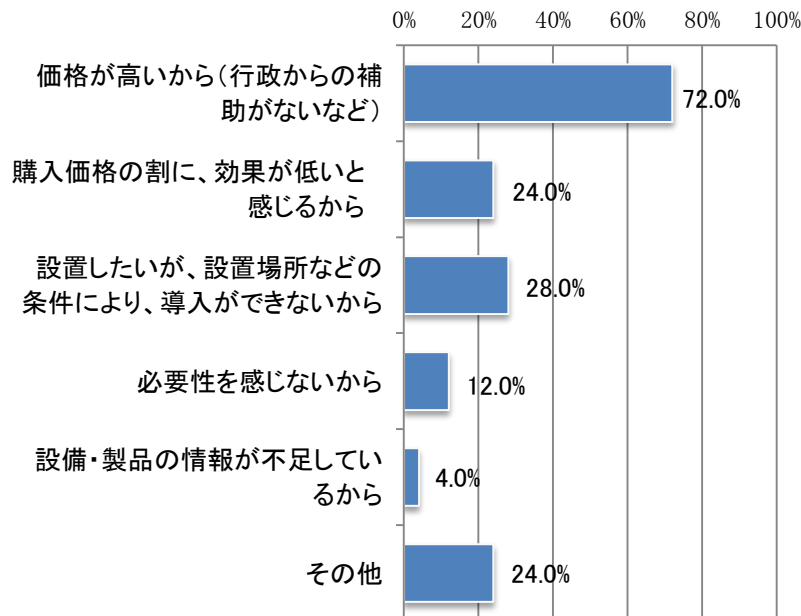
※2 外部電源から充電できるタイプのハイブリッド自動車(排気ガス等を出さない電気自動車のメリットと遠距離走行ができるハイブリッド自動車の長所を併せ持つ自動車です。)

※3 「燃費の優れた自動車」: 国が認定した車種には緑のステッカーがついており、自動車検査証の備考欄に「平成22年度燃費基準達成車」などと表示されています。

選択肢	人数			%		
	導入済み	導入予定	予定なし	導入済み	導入予定	予定なし
太陽光発電システム	12	8	61	14.8	9.9	75.3
太陽熱利用システム	6	4	71	7.4	4.9	87.7
地中熱利用システム	0	0	81	0.0	0.0	100.0
ペレットストーブ	0	1	80	0.0	1.2	98.8
蓄電池	0	3	78	0.0	3.7	96.3
燃料電池(エネファーム)	0	7	74	0.0	8.6	91.4
HEMS(※1)	3	4	74	3.7	4.9	91.4
電気自動車	0	9	72	0.0	11.1	88.9
ハイブリッド自動車	12	15	54	14.8	18.5	66.7
プラグインハイブリッド自動車(※2)	0	10	71	0.0	12.3	87.7
燃費の優れた自動車(※3)	24	22	35	29.6	27.2	43.2

[問4の全ての項目について、「予定なし」と答えた方に]

問5 あなたがご家庭で再生可能エネルギー設備や省エネルギー機器等を導入しない理由を教えてください。(いくつでも)

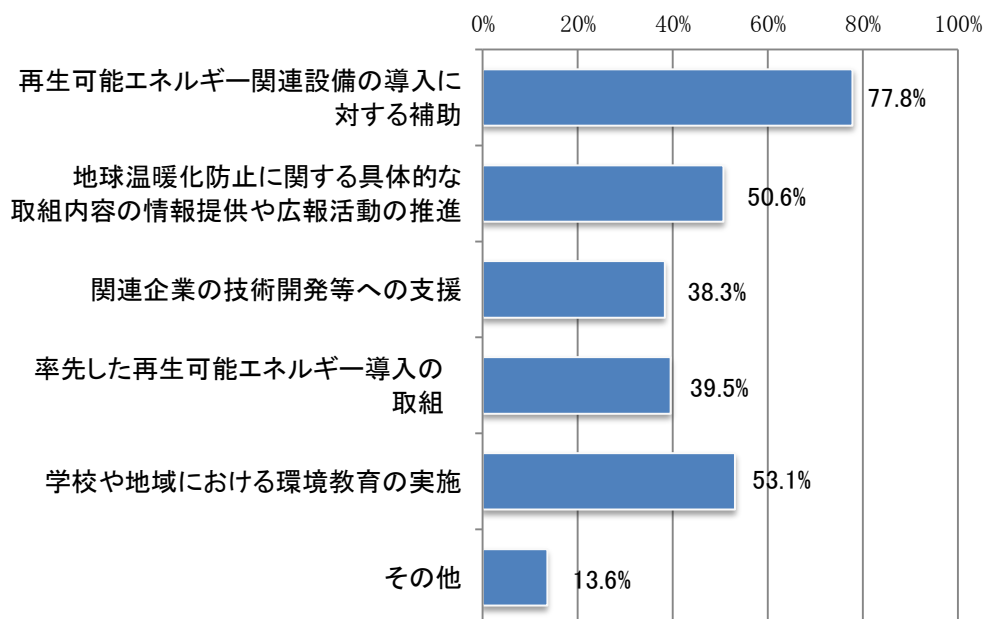


選択肢	人数	%
価格が高いから(行政からの補助がないなど)	18	72.0
購入価格の割に、効果が低いと感じるから	6	24.0
設置したいが、設置場所などの条件により、導入ができないから	7	28.0
必要性を感じないから	3	12.0
設備・製品の情報が不足しているから	1	4.0
その他	6	24.0

(調査対象者 25 人 複数回答)

[全ての方に]

問6 地球温暖化対策のため、行政が取り組むべきものは何だと思いませんか。(3つまで)



選択肢	人数	%
再生可能エネルギー関連設備の導入に対する補助	63	77.8
地球温暖化防止に関する具体的な取組内容の情報提供や広報活動の推進	41	50.6
関連企業の技術開発等への支援	31	38.3
率先した再生可能エネルギー導入の取組	32	39.5
学校や地域における環境教育の実施	43	53.1
その他	11	13.6

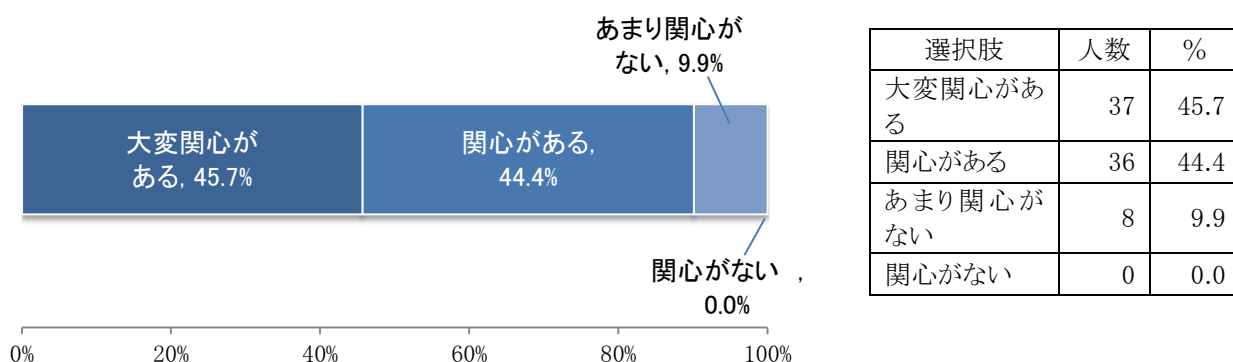
(複数回答)

問7 山口県で地球温暖化対策を推進する上での課題や解決策など自由に記入してください。(全角300字以内)

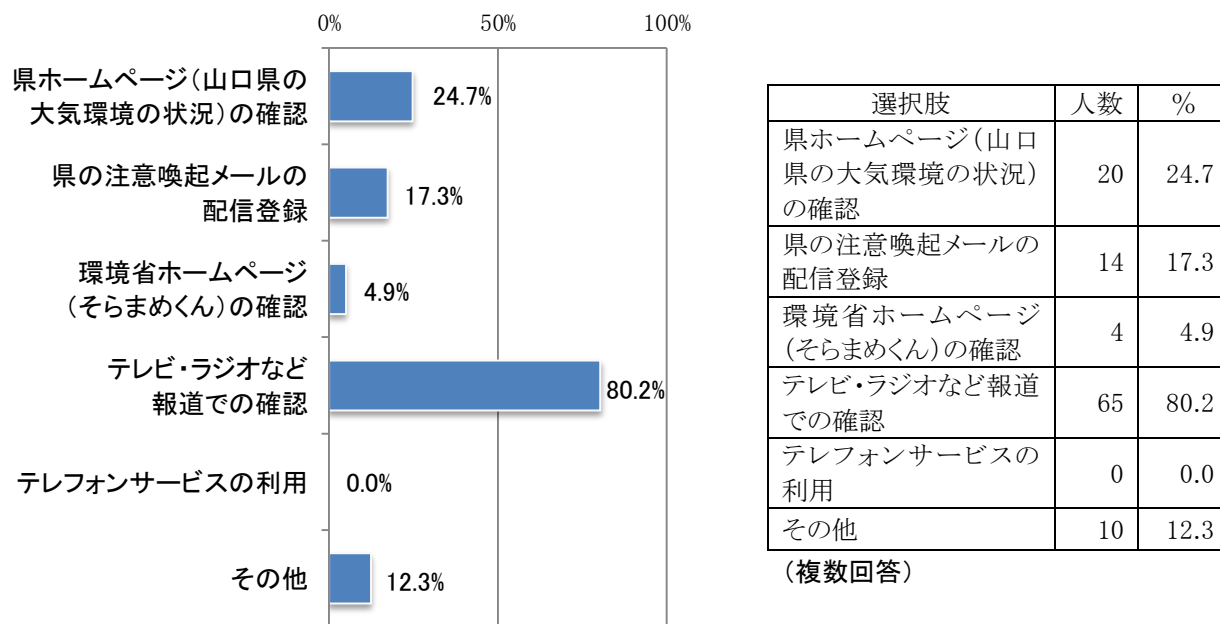
省略

【微小粒子状物質（PM2.5）について】

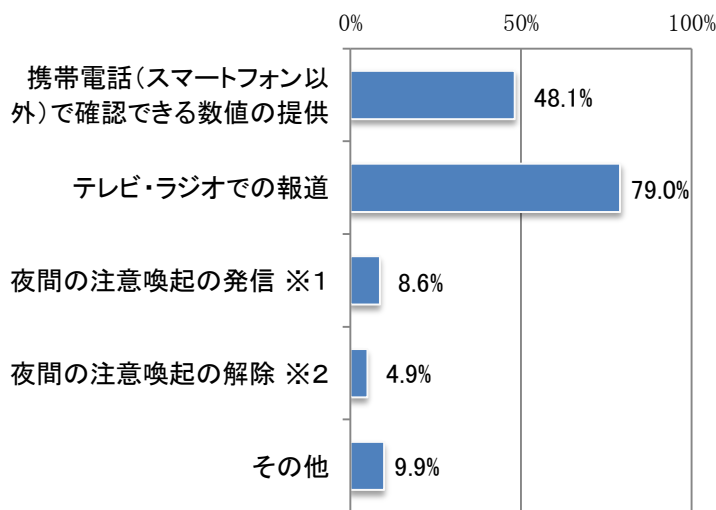
問8 あなたは微小粒子状物質（PM2.5）等大気汚染に関心をお持ちですか。（1つのみ）



問9 微小粒子状物質（PM2.5）濃度が高い時、県では注意喚起を発信しています。あなたは、PM2.5の注意喚起に関する情報を何から得ていますか。（いくつでも）



問10 今後、PM2.5の注意喚起の発信についてどのような点を強化してほしいと考えますか。(いくつでも)



選択肢	人数	%
携帯電話(スマートフォン以外)で確認できる数値の提供	39	48.1
テレビ・ラジオでの報道	64	79.0
夜間の注意喚起の発信 ※1	7	8.6
夜間の注意喚起の解除 ※2	4	4.9
その他	8	9.9

(複数回答)

※1 PM2.5の注意喚起は、午前6時から日没(春分から秋分までは午後6時、秋分から春分までは午後5時)までに一定濃度を超えた場合に発信しています。

※2 PM2.5の注意喚起後、日没までに一定濃度以下に改善した場合に解除しています。

問11 山口県で微小粒子状物質(PM2.5)等の大気汚染対策を促進する上での課題や解決策など自由に記入してください。(全角300字以内)

省略